

日本共産党

豊島区議団ニュース

発行所：日本共産党豊島区議団 東京都豊島区東池袋1-18-1 豊島区役所内 TEL.(3981)1429 FAX.(3590)4650

2015年

大型開発よりも

くらし・福祉優先に



区民要望実現へ

保育園待機児解消は認可保育園の増設で

14年10月の認可保育園の待機児は560人。これまで区議団は認可保育園の増設を繰り返し求めてきました。区長はようやく「認可保育園を増設する」と表明。今年4月から2カ所が開設予定です。引き続き増設を求めます。

特別養護老人ホームをふやせ

待機者は昨年9月末で553人。区議団が粘り強く要求してきた結果、今年2カ所開設します。しかしまだまだ求めるとともに、高齢者が安心して住み続けられる公営住宅建設を求めています。

あけまして

おめでどうございませす



区民の願いをうけた条例提案をしました

「認証保育所保育料が高すぎる」との声を受け、区議団は条例を提案、14年4月から補助が拡充されました。昨年は子どもの医療費無料化を18歳までに拡充する条例案も提案。しかし、自民・公明・自治みらい（民主、社民、生活者ネット）などは否決しました。

今年、終戦、被爆70年です。二度と戦争をしない、と誓った憲法前文、憲法九条を守り、核兵器のない平和な世界をめざします。日本共産党は他国の戦争に協力する集団的自衛権の行使を許しません。

日本共産党は大型開発推進の区政と正面から対決し、くらし最優先への政策転換を強く求めていきます。保育園の待機児

昨年区議団が行った区政アンケートでは、この1年で「生活が苦しくなった」が53%。また「住

解消や認可保育園の増設、特別養護老人ホームの増設、さらに国保料や医療費の負担軽減、公営住宅の増設、避難場所の確保などに取り組みます。

4月には区長・区議選があります。区議団はみなさんと力を合わせ、明るく展望のある政治を実現するために全力でがんばります。

日本共産党豊島区議団

ホームページもご覧ください <http://www.jcp-toshima.jp>

ご意見、ご要望をおよせください

控室 3981-1429 FAX 3590-4650



儀武 さとる



河野 たえ子



森 とおる



小林 ひろみ

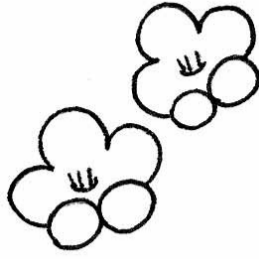


渡辺 くみ子



かきうち 信行

区政を転換し いのちを守れ



14年第3回 定例区議会

第3回定例会は9月19日から10月24日まで開会。小林ひろみ議員が「生命、権利、福祉を守る自治体本来の仕事をやせよ」、儀武さとの議員が「命とくらしを守るために区長の政治姿勢を問う」と題して一般質問。決算特別委員会は、河野、儀武、小林の3議員が審議。また、子ども子育て支援新制度に係る新条例は、「保育も学童も質の向上になっていない」と反対しました。

小林ひろみ議員が一般質問

財政運営 について

小林議員は、まず財政運営について質問。区民のくらしについての区長の認識をたずねました。借金返済と基金積み立ての認識をたずねました。区長は「都市間競争にうちかつためには投資は必

優先し新庁舎整備や東西デッキなどの大型開発をすすめる一方、区民生活改善の切実な要求にはこたえない財政運営をやめるべき、と追求しました。

国民健康保険 について

要と冷たい答弁でした。国民健康保険料引き下げを求めました。区は国への財政支援は求めるとしたものの、保険料引き下げは拒否。

故なども踏まえ、保育の質の確保と子どもの安全のためにも、小規模保育施設などの職員の資格要件を保育士とせよ、と求めましたが、区は拒否しました。

保育園待機児童 解消について

保育園待機児童解消と子ども・子育て支援新制度について質問。認可外保育施設で起きた死亡事

さらに「保育料は値上げするな」「認可保育園の増設を」「高松第一保育園の廃止は撤回を」と質しました。

最後に、小林議員は、区民のプライバシー保護のためにも戸籍・住所異動などの受け付けの民間委託を見直し撤回せよ、と質問、しかし、区は拒否しました。

儀武さとの議員が一般質問

戦争する国づくり の閣議決定は 撤回を

儀武議員は「今、日本は戦争か平和かの歴史的岐路にたっている。憲法を遵守し、平和的生存権を守る立場から集団的自衛権の行使容認の『閣議決定』に反対し、国へ撤回することを求めるべ



き」と質問しました。区長は「撤回を求める考えは現時点では全くない」と答弁しました。

教育委員会制度の 改悪について

また、教育委員会制度

の改悪のねらいは、国や首長からの「独立性」を奪おうとするもの。教育委員会は首長と対等の執行機関との立場を遵守すべきと質問しました。

教育長は中立性、公平性、継続性を重視した教育行政を推進すると答弁しました。

さらに「昨今、こどもの貧困と格差が拡大している。本区でも、小学校で約5人に一人、中学校では約4人に一人が就学援助を受けている。就学

援助の認定基準を大幅に引き上げるべき、また、クラブ活動費を援助費目に設定すべき」と質問。区長は「認定基準の引き上げは、現時点では考えていない。クラブ活動費については検討すべき課題」と答弁しました。



第三回定例会 請願・陳情について

消費税10%引き上げ中止を求める 意見書否決

消費税の10%引き上げの中止を求める意見書提出を求める請願が別の道があることを、総務委員会で審査されました。儀武、森西議員は、4月の消費税増税後、消費税が落ち込み、アベノミクスのもとで消費者物価が上昇し、労働者の賃金や高齢者の年金が目減りが続いている、世論調査でも消費税10%への引き上げは、「当面見送るべきだ」という意見が最

も多いこと、さらには、消費税増税に頼らない別の道があることを、財源を含めて対案を提示。請願を採択し国に意見書を提出すべきと主張しました。

議員定数削減するな

「豊島区議会議員の定数を削減しないことを求める請願」と「豊島区議会の議員定数の削減を求める請願」が、公明、自治みらいは、継続審査にしました。

森とおる議員は「議員は、区民と行政を結ぶパイプ役。減らせば、その分、区民の声が行政に反映しにくくなる」「議員が減れば区

大型開発優先の くらし・福祉・



14年第4回 定例区議会

第4回定例会は11月21日から12月5日まで開会。渡辺くみ子議員が「国の悪政の防波堤となり、区民を守る予算編成を」、森とおる議員が「将来に禍根を残す大型開発をやめ、くらし最優先の区政に」と題し一般質問。新庁舎建設の保留床などの購入に136億円を基金を取り崩して支払う議案が提出され、日本共産党は反対しました(4面参照)。

渡辺くみ子議員が一般質問

消費税10%増税に 反対を

渡辺議員は「区政アンケートで、生活が苦しくなったが53%、消費税増税反対は73%。増税不況で区民生活は大変」「安

倍政権は増税不況で解散に追い込まれた」として、「消費税増税反対を」と追及。しかし区長は「消費税は公平性の高い税。反対はしない」と消費税を評価。「障害者団体な

区民生活改善に 来年度予算で 取り組むべき課題

①高松第一保育園は廃止せず継続を、②国保料の引き下げ、差押え中止、保険料減免の拡充を、③安倍政権の生活保護費削減に対し区独自の家賃補助と入浴券の拡充等を求めました。しかし区長はこれら全て冷たく拒否しました。

拡充を」と求めたが区長は拒否しました。

「安心して利用 できる 介護保険に」

渡辺議員は「医療・介護総合法で要支援1・2が『新総合事業』に移行するがサービスマン水準を下げないことを強く求め、区は「水準は維持する」と答弁。また来年度、保険料値上げをしないよう追求。しかし区は「多少の引き上げはやむを得ない」と値上げを示唆しました。

街の街路灯LED化への補助制度創設と、高齢者のおむつ助成の拡充を求め、区は検討すると答弁。

森とおる議員が一般質問

破綻した新庁舎 資金計画について

森議員は、まず、新庁舎資金計画等の問題を取り上げました。

区は新庁舎保留床等を購入するため、136億円(基金(貯金))を取り崩して支払う議案を提出しました。保留床等購入にあてる予定の現庁舎地の民間貸付収入が、2年



半から5年も先になるため、基金をくずすのです。森議員は、「区長が『税金を使わずに10億円の黒字で新庁舎を建てる』と約束反であること。現庁舎地貸付収入は当初50年

で401億円だったのが、70年で141億円に悪化し資金計画が破綻したこと。この上さらに豪華新ホール建設や周辺整備に114億円以上も支出したら将来に禍根が残る」と指摘し、区民への説明、計画の白紙撤回を求めました。区長は「収支が変動するのは当たり前」とか「基金の取り崩しは収入が入ってくるまでのつなぎ」などと聞き直り、区民への説明さえ拒否しました。

造幣局移転後の 跡地活用について

森議員は、造幣局移転後の跡地活用についてはUR任せにせず、区民合意で土地全体を公共施設として計画し直すことを求めました。他に、特別養護老人ホームの増設及び入所選考漏れを解決すること、コミュニティバスの実現を求めました。



かきうち信行議員

「コミュニティバスの 自民・公明・自治みらい等が継続に

「国民健康保険料の引き下げを求める請願」が600名を超える署名とともに提出され区民厚生委員会(河野たえ子委員長)で審査されました。

この請願は「保険料が高すぎる。区民が安心して医療が受けられるよう①国・都に財政支援拡充を求める。②区の一般財源繰入削減の中止。③短期証、資

継続審査になってい

た「上池袋と大塚間のコミュニティバス運行を求める陳情」ほかバス運行を求める請願、陳情が都市整備委員会に再審査されました。多くの傍聴者が見守るなか、かきうち議員は、区長にあらためて

かきうち議員は、継続審査となっていた3つの請願・陳情の採択を主張。しかし、自民、公明、自治みらいの委員は、バスの必要性を認めながらもまたもや継続審査にしました。

新庁舎の保留床購入費 136億円

第4回定例会で、新庁舎の建物買入れ（新庁舎、駐車場、駐輪場と設備造作の追加費用136億円）についての議案、および新庁舎買入れの財源として財政調整基金が

第4回定例会で、新庁舎の建物買入れ（新庁舎、駐車場、駐輪場と設備造作の追加費用136億円）についての議案、および新庁舎買入れの財源として財政調整基金が

区民のくらし削って ため込んだお金で購入

まず、市街地再開発の手法では建物を高く買わされていくことです。そして、区民のくらしを削ってため込んだお金で購入するということです。

まず、市街地再開発の手法では建物を高く買わされていくことです。そして、区民のくらしを削ってため込んだお金で購入するということです。

15年度予算要望 561項目申入れ



2014年12月8日、区議団は「15年度豊島区政の取り組みべき課題と予算編成に関する要望書（第一次）を区長に提出しました。」

区内の各種団体との懇談やアンケートによせられた「消費税増税の負担が重い」「国保料や医療の負担を減らしてほしい」「認可保育園や特養ホームを増やしてほしい」など切実な要望を含め、561項目になりました。



第3回定例会で、13年度決算審査が行われました。区議団は、深刻な区民生活を支えるものになっていない、区民の生活を守る財政運営になっていない、住み続けられる街づくりになっていないので一般会計決算認定に反対しました。

保育園の14年4月の待機児童は新定義で240人（旧定義・認可保育園の待機児は563人）。13年度は「待機児童対策緊急プラン」でスマート保育、商店街振興も不十分で

保育園の14年4月の待機児童は新定義で240人（旧定義・認可保育園の待機児は563人）。13年度は「待機児童対策緊急プラン」でスマート保育、商店街振興も不十分で

深刻な区民生活を 支えるものになっていない

13年度 決算認定に反対

就学援助の基準や単価も低いままで。区民のくらしを削って財調基金は100億円超

区は、23年ぶりに基金（貯金）が借金をうわまわった、「快挙だ」といいます。この間、区民には金がないとい

す。就学援助の基準や単価も低いままで。区民のくらしを削って財調基金は100億円超

区は、23年ぶりに基金（貯金）が借金をうわまわった、「快挙だ」といいます。この間、区民には金がないとい

日本共産党がねばりつよく提案 体育施設の 使用料 引き下げ実現

第4回定例会で、区立体育施設使用料を引き下げる条例が提案され、全会一致で可決されました。

具体的には、温水プールとトレーニングルームの利用料を現行600円と比べて、15年4月から引き下げるもの。

日本共産党区議団は、



第3回定例会から、「請願者の意見陳述制度」を実施しています

豊島区議会「議会改革検討会」で決定された「請願者の意見陳述制度」が実施されました。第3回定例会では、「国民健康保険料引き下げを求める請願」をはじめ5つの請願で陳述が行われました。

14年11月17日には豊島区議会初の「議会報告会」（全議員参加）がおこなわれ、会場から「意見陳述制度で区議会が身近になった」と評価する発言がありました。

